

① A0143- 01134 019

病中養子 宇都宮恒右衛門病中養子坂部安之助伯父幸八願二付、
宝曆十辰七月
紛失物 御城内紛失物之儀二付聞繕、
同七月
札所御用筋二付大坂御蔵屋敷迄組之者指遣聞繕、
同八月
富札 御料富札之儀御城下町人共取次致候趣二付、
同
身持不べり 明石縫殿義家内引越江戸定府ニ被仰付候処、兼而身持不べり之趣相聞候二付、
同
役前 長谷川次郎左衛門御役筋色々不べり之評判有之二付、
同十一月二日
半禄御内意ニ付御役人不宣 此度御家中高方半分之内意被仰出候処御奉行中根十郎左衛
門中川平太左衛門萩原金兵衛西尾十左衛門且又御目付共并矢野伝左衛門御勝手役大久保清
右衛門笠原平八郎井上茂右衛門其余札所役人山本七郎右衛門小算水野弥八郎高木次郎右衛
門見積役中山与一右衛門
右之面々不宜趣申相候段書付之事、
同四月
役前 巡見衆御城下止宿ニ付御先物頭共三人火之元廻被仰付候処不宜趣相聞候二付、
同五月
役前 御勝手役之者御作事方札所之者大坂御蔵奉行其外小算并下代共義二付、
同
溝口市左衛門願之義ニ付聞繕、
同
妻入水之評判 鈴木市右衛門妻入水之評判有之二付、
同
在方組頭共役義被指免候処、郡方下代共指支を申立歸役被

② A0143- 01134 020

仰付候様取持致候趣二付、
宝曆十一巳九月
三国泥原困窮 三国湊并泥原新保浦困窮之趣ニ付承合書付之事、
同
論地 土山村与菖蒲谷村論所一件ニ付、

同
他国ニ長逗留 竹沢郡六父太作参宮相願先方京都由縁之方へ立寄申度旨
相願罷越、大坂御蔵屋敷ニ久敷逗留罷在候ニ付、
同 加藤長右衛門義江戸表方罷歸日柄相立候処、役義其俣相勤罷在
候ニ付世評聞繕、

同

戸田弥次兵衛下代水元勘七病死跡養子平次郎不埒之趣有之ニ付、

同十月

戸田弥次兵衛同下代水元勘七聞繕、

同十一月

御米問屋不届 今庄御米問屋伊三郎聞繕、

同

安原利左衛門（*十七石三人）勝手困窮ニ付渴命之体ニ付、

同十二月

不行跡 東郷三郎右衛門家内不べり不行跡之趣ニ付、

同十二年正月

不勝手申立勝手向之儀ニ付不宜趣 牧野主殿村田十大夫儀旧冬勝手向之儀ニ付不宜趣相聞
并安原理左衛門義ハ兼而質方も致者ニ候処難渋申立拝借米願指出、其外不埒之致方相聞候
ニ付、

同

御米問屋不届 今庄御米問屋伊三郎与申者不届之取斗有之ニ付、

同二月

引負 御勝手役土田吉兵衛京都長詰之処引負等有之趣ニ付、

③ A0143- 01134 021

宝曆十二年二月

御普請場脇指 御足輕共御普請場所へ脇指帶し候儀ニ付、

同

私曲 今立六右衛門下代斎藤太右衛門与申者、京都御用ニ罷越私曲之評判有之候ニ付、

同閏四月

川崎常左衛門近藤八右衛門養子治右衛門聞繕、

同

博奕好色 宇貝八郎右衛門長谷川武右衛門蜷川七郎兵衛土屋甚五右衛門宮塚多門佐々木小
左衛門成瀬又右衛門林惣兵衛与力奥山七兵衛右之面々博奕并好色之不埒有之趣相聞候ニ付、
同五月

同 博奕之儀ニ付右之面々之外ニ瀬尾幸次郎千本長右衛門組高橋惣左衛門矢野伝左衛門組

川端林蔵聞繕、

同九月

町方組頭之儀先規之通人数相増候而べり方ニも可相成哉ニ付、

同十月

欠落 安見寿碩妹欠落之儀ニ付聞繕、

同十一月

不べり 本多五郎右衛門江戸留守不べり之趣相聞候ニ付、

同

紛失物 立岩武左衛門組山田定四郎懷中物紛失ニ付山川二松与申者聞繕、

同

不埒 塩硝蔵番人大森藤八不埒之趣相聞候ニ付、

同十二月

佐久土市兵衛郡下上坂藤太夫御代官下湯尾村同役米之儀ニ付、

同十三未正月

役前 御武具奉行湯俣弥五右衛門御修復料御定金取扱之儀不宜趣相聞候ニ付、

同三月

④ A0143- 01134 022

役前 右同断湯俣弥五右衛門再調聞繕、

宝曆十三未三月

町方ニ而不埒 吉田喜右衛門組和田伊太夫町方へ罷越不埒之趣相聞候ニ付、

同

遺恨 安見寿碩義蓬田忠左衛門弟佐一郎江遺恨を合候趣相聞候ニ付聞繕、

同四月

出奔 高松権大夫家之姪出奔ニ付、

同四月

出奔 鈴木市右衛門妻義先達而入水之趣ニも相達候処、此節三国表ニ罷在候趣ニ付、

同

安見寿碩親類之内二次男三男等も有之者候哉、又ハ他家ニ而も家業功者之者も有之哉ニ付、

同

役前 国枝小市郎役筋取扱不宜趣相聞候ニ付、

同五月

同 右同人并同人組小頭前田三五兵衛不宜趣相聞候ニ付聞繕并比企文左衛門聞繕、

同

同 山奉行野中市兵衛用水奉行山田藤次右衛門御役筋ニ付不宜趣相聞候ニ付、

同六月

三岡三郎左衛門郡下於安田村秘事法問之義取扱之者有之趣ニ付、
同七月
御本丸御座所御修覆ニ付、塗師方之儀ニ付与力本庄八右衛門故障卜聞候趣ニ付聞繕、
同
町奉行奈良権左衛門義金津奉行被仰付、右跡へ鈴木忠右衛門被仰付候処町方ニ而善惡之評
有之趣ニ付、

⑤ A0143- 01134 023

宝曆十三未九月
御作事方不べり 御作事所不べり之趣ニ付聞繕、
同十月
吉江御鷹場鳥見五十嵐浅右衛門与申者不宜趣相聞候ニ付、
同十一月
細井道栄儀大酒を好放埒成事共有之候処、近年身持如何候哉聞繕、
同十二月
御蔵米 松岡御蔵米之儀ニ付申相候書付之事、
役前 野中市兵衛義御役筋取扱不宜追日不埒之趣相聞候ニ付、
宝曆六子正月
下女不届 岡三郎右衛門召仕之下女不届之趣相聞候ニ付聞繕、
砂子坂村高桑教庵妻不埒之儀ニ付、同村藤七与申者口論致候処藤七義甚不宜者之由ニ付、
宝曆元未四月五月分
役前 見積役中山藤右衛門川除方中村甚五右衛門義不宜儀相聞候ニ付、
同五月
博奕 御家中博奕之儀ニ付小倉庄右衛門与力田中弥作聞繕、
同八月
同 山田弥三右衛門岡田文太夫并小川七右衛門下代伊藤吉右衛門博奕之聞繕、
同四戌八月
追放者立帰 蟬江善右衛門元組桑野与左衛門御国追放者ニ候処立入之由、其外立帰者も有
之由ニ付、
同十二月
家内不和 原田甚五左衛門義家内不和之由ニ付聞繕、
同五亥七月

⑥ A0143- 01134 024

参宮願不参届 御番頭并御番改川崎金太夫小林久左衛門波々伯部一右衛門山形三五右衛門
参宮願之儀ニ付不参届儀も有之由ニ付、

宝曆九卯八月

家来不届 前田金一家来八藏与申者不届之儀有之由二付、
同十一 六月

虚妄

御勘定所并於諸役方人柄私欲こもふのもの聞繕、
同十二年十一月

養子願 岡田戸右衛門養子願之儀二付聞繕、

明和

明和元申二月

養子願 杉田主水儀弟権之丞を養子願二付承合書付、

同三月

八田金右衛門支配下幾久村不埒之評判有之二付、

同六月

世上物騒ケ敷趣二付べり方被仰付候事、

同

越山出入 佐久士市兵衛支配下若須村山之内御料中野村江越山有之苧
草之儀二付出入ニ罷成承合書付、

同七月

渡り御駕法外 渡り御駕之者町人共を度々致打擲候趣二付、

同

今度御入部ニ付御家中并未々迄御祝被下候ニ付書付、

同七月八月

⑦ A0143- 01134 025

稻生八郎右衛門儀江戸長詰致候処不宜趣ニ付、

明和元申七月

家来無挑灯 天方八郎家来無挑灯ニ而通行致候処松本町立番之者相咎儀
ニ付聞繕、

同

御絵師原松哲義不宜趣相聞候ニ付、

同

笹治多門与力本庄八右衛門義御城内取扱之儀ニ付、

同八月

役前 今立六右衛門下代齋藤太右衛門役筋之儀ニ付年来評判不宜ニ付、

同

今般御入部ニ付大赦被仰付候処佐久土市兵衛配下之者赦願之義ニ付承合候書付、

同

御家中弓鉄砲御覽被仰出候処師匠中御取扱之儀ニ付世評書之事、

同

同武芸御覽之節与力共麻上下之下着用仕候様被仰付候事、

同

三尾野村清水村出入ニ付江戸表へ御呼出申来候処疑敷儀も有之ニ付承合書付、

同

井上半太夫病氣之次第承合書付之事、

同十月

御作事方不べり 御作事所べり方不宜ニ付吟味書付、

同閏十二月

渡り組不宜 山方渡り御先筒組中西清兵衛山田猪八与申者共勤方不宜趣ニ付聞繕、

同